



エルフ街の悪夢

怪奇電腦漫画箱



木

木

木

...

ドク

木

木

木

木

木

木

木

木

木

ああ...

こないで...

いやっ

あ あ あ あ あ 女 妖
エルフ街の悪夢

—— 一般的に
夢を見ている間は、
知覚並びに認知に
障害が起こり、

現実と区別が付かなくなる
と云うのは既知の通り、
一方で伝承や民俗学、
都市伝説の類は――

じゃ、行こっか

教授はなんて？

教授の知人に夢魔の人が
居るんだってさ

え
その人がフレデリカを
診てくれるの？

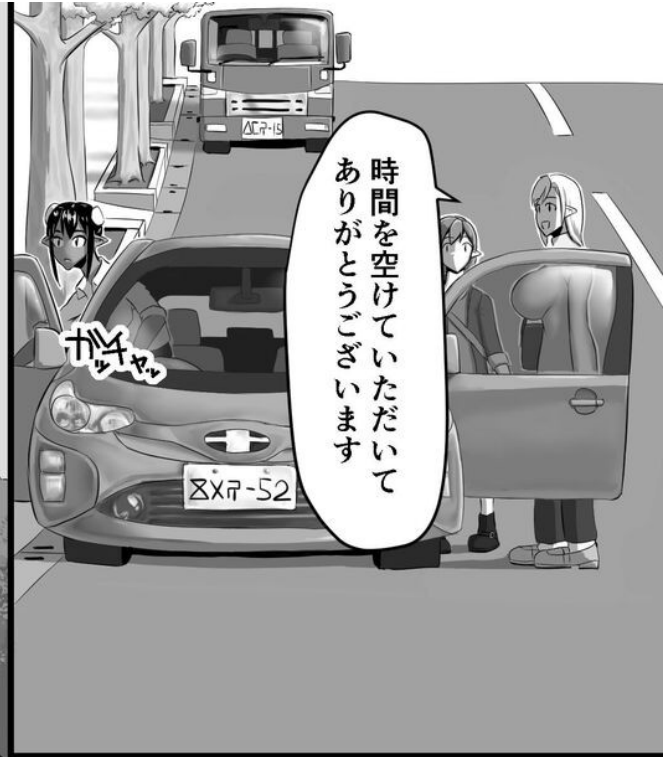
うん

それがね

おっ
来たね
早速行こう

お

来たね
早速行こう





お友達である
あなた達なら
フレデリカさんの中へ
入っても、真つすぐ
彼女の元へ辿り着ける

私が出るのは、

夢世界の歩き方を
教える事だけ



もし、その子に
干渉している存在
が居たら、
一旦戻ってくる事

夢世界の
障害対応は
私の領域だから



最後に、

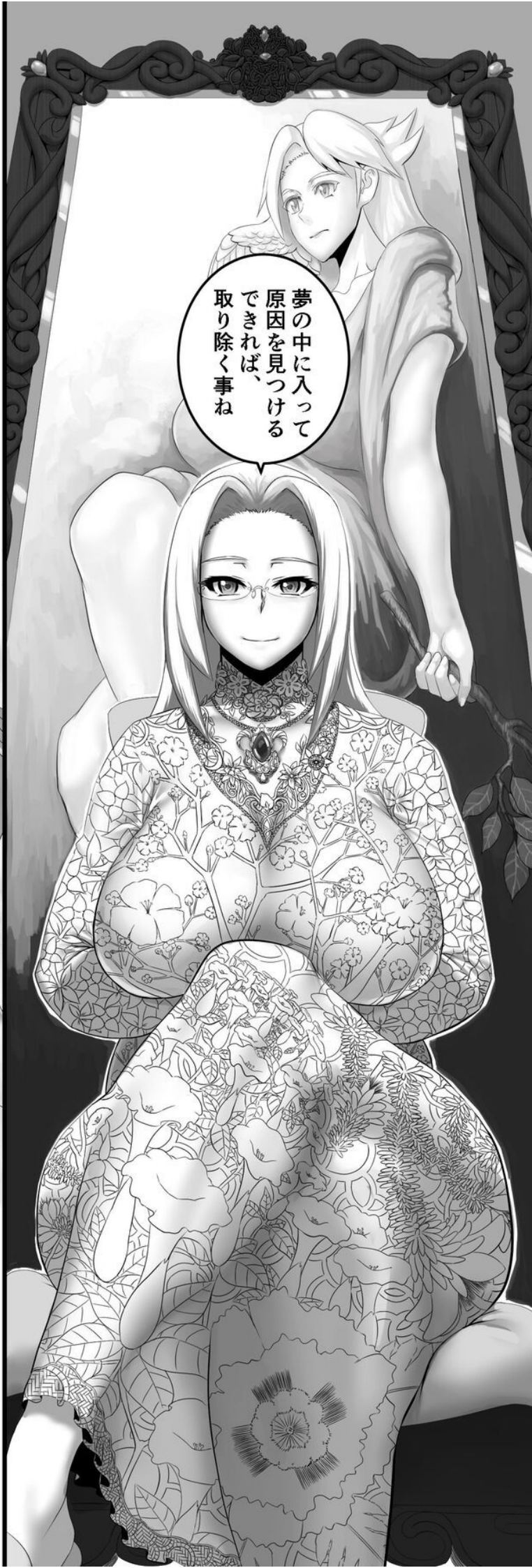
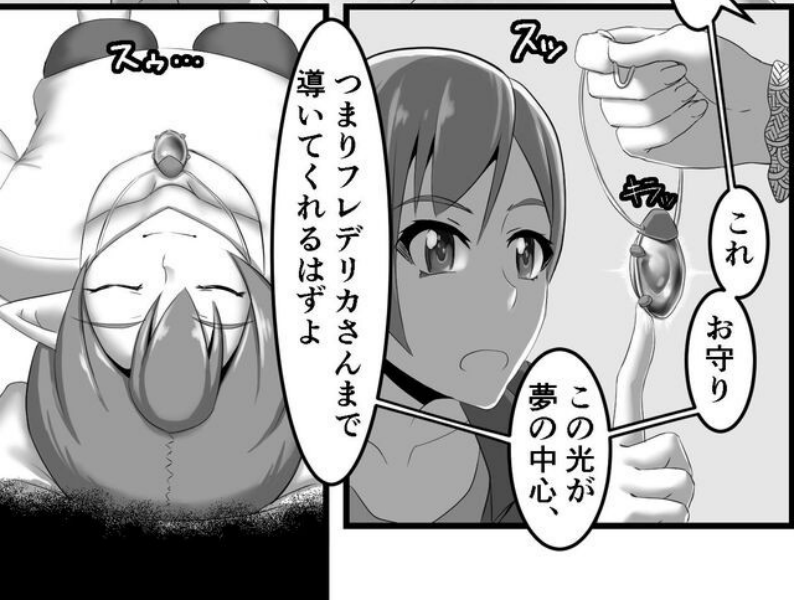
ズ

キラ

これ
お守り

この光が
夢の中心、

つまりフレデリカさんまで
導いてくれるはずよ



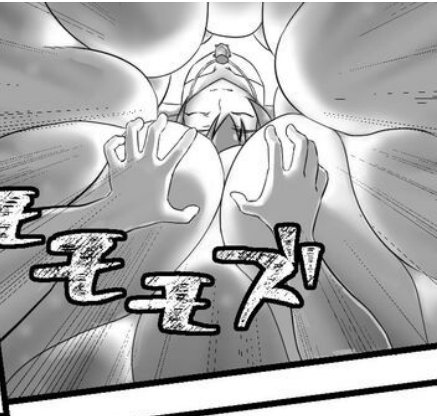
夢の中に入って
原因を見つけれ
れば、
取り除く事ね



ド
キ
ャッ



ゲ
ポ
ォッ



モ
モ
モ
ズ



ここが...



なんともない、
けど...

うん

大丈夫？

ズ
ォ...



フレデリカの夢の世界...？

実際のところはどうなの？

もも

昏睡状態が
フレドリカさんの心的外傷に
因るものなら、
お友達が心強い味方になれる

だけど、もし、
何らかの存在が居るとするなら、
本格的に私の出番かもね

何らかの存在？

さて、実在のものかもしれないし、
実在しないものかもしれない

後者だった場合は、概念が
肉体を持つようなもので
もはや私の手には余る
存在だろうね

あなたほどの人でも？

私は何でも出来るわけ
ではないし、
何でも知っているわけ
でもないよ

ふふっ





ねえ

うん

フレデリカの
夢世界ではない
とおもう

お
お
お

あ
あ
あ

あ
あ
あ

う
う
う

フ
フ
フ

フレデリカは
居るみたい

でも、
それ

フレディ
どこに
いるの

!



エレオノーラ…
シエスティン…
来ちゃダメ…
戻って…

フレディ…
今助けるからね…!!

コラーっ!!
フレディに何してるの!!

あなた…
「何」なの…?

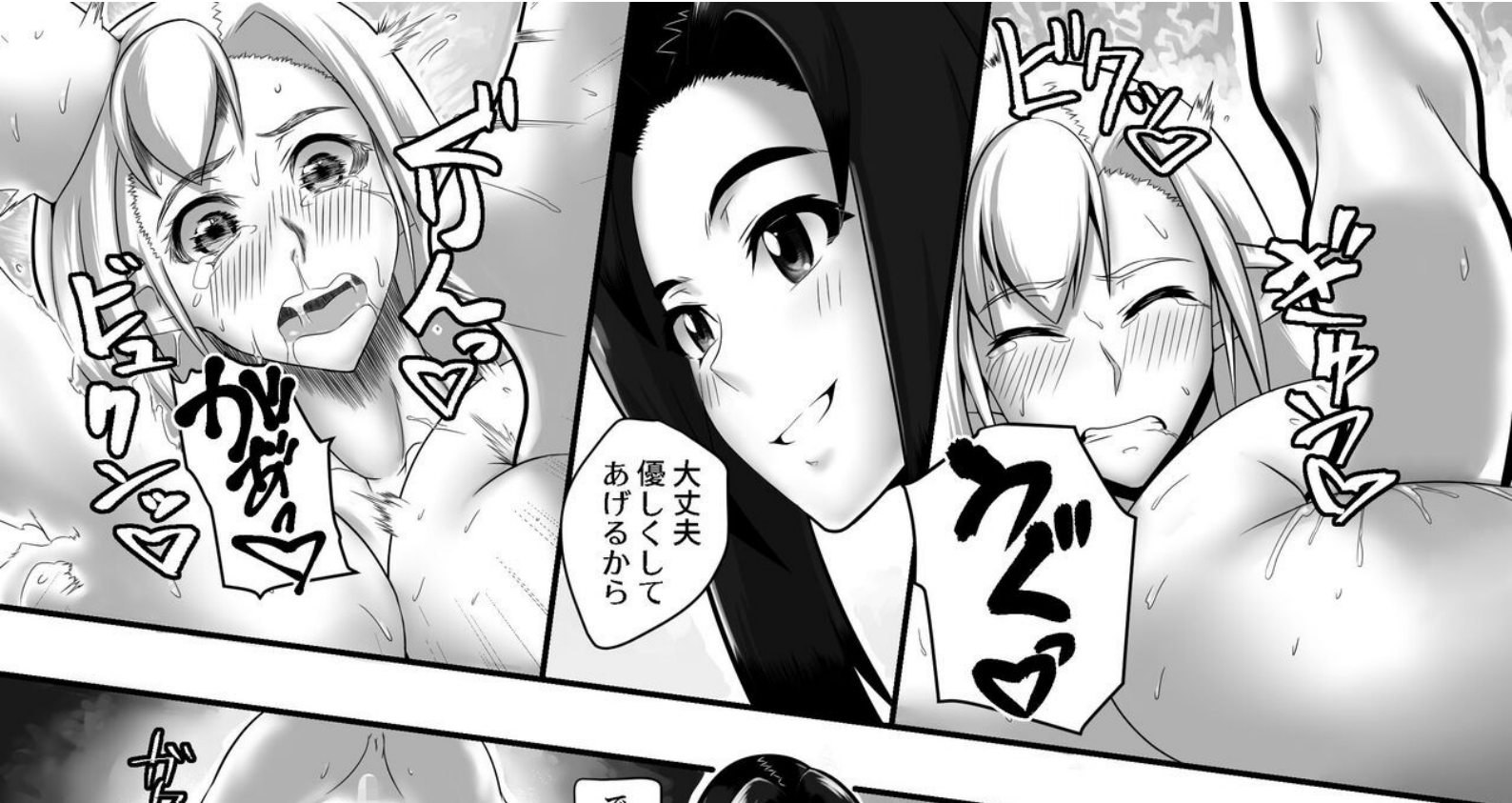
あら♡

ううっ…

あかっ♡







「だけど私じゃ
「あれ」には対処できない

ごめんシエス
すぐ戻
あらあら
帰るには
まだ早いわよお

おがわあ♡

ぐうつ

下キアッ

ちゅ♡

ちゅ...









本当に、感謝しているのよ。
現の世界へ行けるんだもの
胸が高鳴っちゃう

夢の世界よ、
さようなら

また何れ、
私が還る時まで



お、
還ってき...

...あなた、
誰
いや、「何」なの？

はじめてまして
私が「何」か、
それはね

奥付

「エルフ街の悪夢」

サークル：怪奇電腦漫画箱

発行者：うねた

連絡先：kdmhako@gmail.com

Pixiv：id=4040250

※本作品の内容は全てフィクションです
内容の無断転載、複製、アップロード等を禁止します

